

2019年10月29日

各位

会社名 オムロン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 山田 義仁
 コード番号 6645
 上場取引所 東証第一部
 問合せ先 IR部長 奥村 俊次
 T E L 03-6718-3421

剰余金の配当（中間配当）の決定および年間・期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）および2020年3月期の年間・期末配当予想の修正について下記のとおり決議しましたので、お知らせします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の決定の内容

	決定額	直近の配当予想 (2019年4月24日公表)	前期実績 (2019年3月期中間配当)
基準日	2019年9月30日	同左	2018年9月30日
1株当たり配当金	42円00銭	—	42円00銭
配当金の総額	8,657百万円	—	8,805百万円
効力発生日	2019年12月3日	—	2018年12月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 2020年3月期の年間・期末配当予想の修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2019年4月24日発表)	—	—	84円00銭
今回修正予想	—	42円00銭	84円00銭
当期実績 (2020年3月期)	42円00銭	—	—
前期実績 (2019年3月期)	42円00銭	42円00銭	84円00銭

3. 理由

当社の株主還元方針は、「企業価値の持続的な向上を目指し、将来の成長に必要な研究開発、設備投資、M&Aなどの投資を優先し、そのための内部留保を確保したうえで、資本効率を勘案し、安定的、継続的に株主の皆さまへ還元を図っていく」としています。また、「中期経営計画(呼称 VG2.0)期間は配当性向30%程度およびDOE 3%程度を目安として、利益還元に努める」としています。

当期は、業績状況を鑑み、DOE基準ならびに過去の配当額の水準も考慮したうえで、安定的・継続的な配当とするため、2020年3月期の年間配当予想は前回発表予想の84円（前期と同額）を据え置きました。また、2020年3月期の中間配当および期末配当予想は、それぞれ年間配当予想の半額の42円（ともに前期と同額）としました。

以上